

厚生労働大臣  
長 妻 昭 殿

学校法人 金沢医科大学  
理事長 山下 公

金沢医科大学病院の業務に関する報告について

標記のことについて、医療法第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 20 年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照 (様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照 (様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	45	人
--------	----	---

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法 → 別紙参照 (様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績 → 別紙参照 (様式第 13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	299 人	6.6 人	305.6 人	看護業務補助者	109 人	診療エックス線技師	0 人
歯科医師	8 人	0 人	8 人	理学療法士	16 人	臨床検査技師	56 人
薬剤師	43 人	0 人	43 人	作業療法士	7 人	衛生検査技師	0 人
保健師	3 人	0 人	3 人	視能訓練士	9 人	その他	0 人
助産師	12 人	0 人	12 人	義肢装具士	0 人	あん摩マッサージ指圧師	0 人
看護師	594 人	21.8 人	615.8 人	臨床工学技師	11 人	医療社会事業従事者	5 人
准看護師	7 人	2.5 人	9.5 人	栄養士	4 人	その他の技術員	15 人
歯科衛生士	7 人	0 人	7 人	歯科技工士	3 人	事務職員	92 人
管理栄養士	14 人	0 人	14 人	診療放射線技師	32 人	その他の職員	63 人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。  
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。  
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数  
 歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1 日当たり平均入院患者数	654.0 人	4.3 人	658.3 人
1 日当たり平均外来患者数	1,077.2 人	45.4 人	1,122.6 人
1 日当たり平均調剤数		1,151.7 剤	

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。  
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数 (毎日の 24 時現在の在院患者数の合計) を暦日で除した数を記入すること。  
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。  
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・ <input type="radio"/> 無	人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション	有・ <input type="radio"/> 無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
胎児心超音波検査	有・ <input type="radio"/> 無	人
インプラント義歯	<input checked="" type="radio"/> 有・無	1人
顎顔面補綴	有・ <input type="radio"/> 無	人
顎関節症の補綴学的治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
光学印象採得による陶材歯冠修復法	有・ <input type="radio"/> 無	人
経皮的レーザー椎間板減圧術	<input checked="" type="radio"/> 有・無	4人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定	有・ <input type="radio"/> 無	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	有・ <input type="radio"/> 無	人
CTガイド下気管支鏡検査	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験	有・ <input type="radio"/> 無	人
三次元形状解析による顔面の形態的診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験	有・ <input type="radio"/> 無	人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下肝部分切除術	有・ <input type="radio"/> 無	人
悪性腫瘍に対する陽子線治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有・ <input type="radio"/> 無	人
成長障害のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術	有・ <input type="radio"/> 無	人
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術	有・ <input type="radio"/> 無	人
声帯内自家側頭筋膜移植術	有・ <input type="radio"/> 無	人
骨髄細胞移植による血管新生療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
ミトコンドリア病のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
鏡視下肩峰下腔徐圧術	有・ <input type="radio"/> 無	人
神経変性疾患のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術	有・ <input type="radio"/> 無	人
重粒子線治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	有・ <input type="radio"/> 無	人
31P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
神経芽腫のRNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素処理骨移植	有・ <input type="radio"/> 無	人
腓腫瘍に対する腹腔鏡補助下腓切除術	有・ <input type="radio"/> 無	人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・ <input type="radio"/> 無	人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
エキシマレーザー冠動脈形成術	有・ <input type="radio"/> 無	人
活性化Tリンパ球移入療法	有・ <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
ケラチン病の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
末梢血幹細胞による血管再生治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
超音波骨折治療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテールラメドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
膀胱水圧拡張術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下直腸固定術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
骨移動術による関節温存型再建	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
先天性難聴の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
培養細胞による先天性代謝異常診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
カフェイン併用化学療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
胎児尿路・羊水腔シャント術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
内視鏡下甲状腺がん手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	有 ・ 無	人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有 ・ 無	人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法	有 ・ 無	人
腹腔鏡補助下肝切除術(部分切除及び外側区域切除を除く。)	有 ・ 無	人
根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援(前立腺がんに係るものに限る。)	有 ・ 無	人

- (注) 1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。  
2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

## 2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	38人	・モヤモヤ病（ウイルス動脈輪閉塞症）	10人
・多発性硬化症	42人	・ウェグナー肉芽腫症	2人
・重症筋無力症	34人	・特発性拡張型（うっ血型）心筋症	10人
・全身性エリテマトーデス	104人	・多系統萎縮症	35人
・スモン	1人	・表皮水疱症（接合部型及び栄養障害型）	2人
・再生不良性貧血	16人	・膿疱性乾癬	3人
・サルコイドーシス	35人	・広範脊柱管狭窄症	2人
・筋萎縮性側索硬化症	19人	・原発性胆汁性肝硬変	27人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	62人	・重症急性膵炎	2人
・特発性血小板減少性紫斑病	28人	・特発性大腿骨頭壊死症	51人
・結節性動脈周囲炎	14人	・混合性結合組織病	11人
・潰瘍性大腸炎	58人	・原発性免疫不全症候群	1人
・大動脈炎症候群	18人	・特発性間質性肺炎	6人
・ピュルガー病	16人	・網膜色素変性症	22人
・天疱瘡	5人	・プリオン病	0人
・脊髄小脳変性症	35人	・原発性肺高血圧症	2人
・クローン病	31人	・神経繊維腫症	10人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・悪性関節リウマチ	13人	・バッド・キアリ（Budd-Chiari）症候群	0人
・パーキンソン病関連疾患	104人	・特発性慢性肺血栓栓症（肺高血圧型）	4人
・アミロイドーシス	1人	・ライソゾーム病（ファブリー[Fabry]病含む）	0人
・後縦靭帯骨化症	83人	・副腎白質ジストロフィー	2人
・ハンチントン病	1人		

（注） 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

## 3 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ②. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部署にまとめられている。		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	1か月に6回程度 （臨床－病理部門：5回      臨床－検査部門：1回）		
剖検の状況	剖検症例数	64例	剖検率 18.3%

(様式第11)

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1. 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託先
医学教育における情報ネットワークを利用した学外臨床教育支援システムの開発	堀 有行	医学教育学	1,700	補助 文部科学省
長時間勤務と高血圧発症との関連の追跡研究	中村 幸志	健康管理センター	1,600	補助 文部科学省
各種栄養素摂取の長期変化と生活習慣病発症に関する大規模疫学研究	櫻井 勝	健康増進予防医学(公衆衛生学)	100	補助 文部科学省
短縮ミッドカインを用いた外科的手術が必要な早期胃癌の新しい診断法	伊藤 透	内視鏡科	2,500	補助 文部科学省
知的クラスター創成事業(第Ⅱ期)ほくりく健康創造クラスター「血液中の有核赤血球の回収・DNA分析システムの開発」	高林 晴夫	FDD-MBセンター	91,500	委託 文部科学省
疑ウエルナー症候群の病態解明	石垣 靖人	RIセンター	900	補助 文部科学省
ヘルペスにつなげる光触媒型活性酸素パッチの開発	石垣 靖人	RIセンター	100	補助 文部科学省
抗心筋膜受容体抗体による心筋傷害:抗体吸着療法の開発と創薬の試み	松井 忍	先進医療研究部門	1,500	補助 文部科学省
慢性腎不全でのヘパジン発現制御機構の解明ー骨髄造血関連因子の影響ー	友杉 直久	先進医療研究部門	1,900	補助 文部科学省
間質性腎炎のマーカーの探索と臨床応用	友杉 直久	先進医療研究部門	2,000	委託 (独)科学技術振興機構
大腸癌の細胞極性の制御異常と悪性化促進におけるRhoGDIβの機能解析	太田 隆英	分子腫瘍学研究部門	1,500	補助 文部科学省
我が国における日本脳炎の現状と今後の予防戦略に関する研究	竹上 勉	分子腫瘍学研究部門	2,200	補助 厚生労働省
白内障患者に対する透明遮光眼鏡の視機能改善効果の解明	坂本 保夫	環境原性視覚病態研究部門	800	補助 文部科学省
経胎盤的母胎間シグナル伝達による胎児脳の発育調節	八田 稔久	分子細胞形態科学(解剖学)	3,800	補助 文部科学省
酸素が毒やって知った?ー酸素となかよく生きていくにはー	島田 ひろき	分子細胞形態科学(解剖学)	600	委託 (独)日本学術振興会
はやく大きくなあれー我が子に贈るメッセージー	八田 稔久	分子細胞形態科学(解剖学)	600	委託 (独)日本学術振興会
モデル動物を用いた肥満の口腔発がんへの関与に関する研究	田中 卓二	腫瘍病理学(病理学Ⅰ)	2,300	補助 文部科学省
海洋性カロノイドの抗炎症作用をターゲットとした生活習慣病予防機能の解明	安井 由美子	腫瘍病理学(病理学Ⅰ)	2,500	補助 文部科学省
核内受容体蛋白を分子標的とした肝癌化学予防に関する研究	田中 卓二	腫瘍病理学(病理学Ⅰ)	1,000	補助 文部科学省
個体レベルでの発がん予知と予防に関する基盤的研究	田中 卓二	腫瘍病理学(病理学Ⅰ)	3,000	補助 厚生労働省
疾患モデル動物を用いた環境発がんの初期発生過程及び感受性要因の解明とその臨床応用に関する研究	杉江 茂幸	腫瘍病理学(病理学Ⅰ)	3,900	補助 厚生労働省
がん化学予防剤の開発に関する基礎及び臨床研究	田中 卓二	腫瘍病理学(病理学Ⅰ)	3,500	補助 厚生労働省
食品中の複数の化学物質による健康影響に関する調査研究	田中 卓二	腫瘍病理学(病理学Ⅰ)	4,500	補助 厚生労働省
肺癌進展におけるHMGA2遺伝子の発現誘導機構と活性化パスウェイの網羅的解析	上田 善道	病理病態学(病理学Ⅱ)	1,000	補助 文部科学省

小計 24件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託先
悪性中皮腫における癌抑制遺伝子異常-ATBF1 遺伝子解析を中心に-	湊 宏	病態診断医学(臨床病 理学)	1,300	補助 文部科学省
胃癌再発抑制の新しい戦略-治癒手術後潜在再 発に対する抗癌剤効果予測-	小坂 健夫	消化器外科治療学(消 化器外科学)	800	補助 文部科学省
屈曲軸内回転を可能とするマイクロ鉗子の開発	表 和彦	消化器外科治療学(消 化器外科学)	400	補助 文部科学省
特異性大腿骨頭壊死症の予防と治療の標準化を 目的とした総合研究	松本 忠美	運動機能病態学(整形 外科学)	800	補助 厚生労働省
高齢者の習慣性顎関節脱臼の臨床病態学的調 査と低侵襲手術法の確立に向けた開発	瀬上 夏樹	顎口腔機能病態学(口 腔科学)	1,800	補助 文部科学省
変形性顎関節症の発症機序と病態の解明:破骨 細胞に対する性ホルモンの影響	金山 景錫	顎口腔機能病態学(口 腔科学)	1,100	補助 文部科学省
リンパ管系良性・悪性腫瘍の発病進展に關与する 脈管新生因子及び遺伝子変異	森田 礼時	機能再建外科学(形成 外科学)	1,600	補助 文部科学省
Trichophyton tonsuransの分子疫学的研究	望月 隆	環境皮膚科学(皮膚科 学)	200	補助 千葉大学真菌医 学研究センター共 同利用研究
温熱療法の分子基盤の解明-熱ショック誘導性新 規蛋白質の解析を通して	中島 日出夫	腫瘍内科学(腫瘍治療 学)	1,500	補助 文部科学省
塩酸ゲムシタピンによる膀胱がん細胞のEMT誘導の検 証と分子細胞機構の解明	島崎 猛夫	腫瘍内科学(腫瘍治療 学)	600	補助 文部科学省
GSK3βのがん促進機能の分子機構解明とその 阻害に基づく消化器がん治療法の開発	島崎 猛夫	腫瘍内科学(腫瘍治療 学)	500	補助 文部科学省
我が国における臓器横断的分野としての腫瘍内 科学の確立と集学的がん治療への伝統医学の応 用	元雄 良治	腫瘍内科学	500	補助 (公)武見記念生 存科学研究基金 武見奨励賞
心筋内アディポネクチン発現誘導による心筋再生治 療	神田 享勉	地域医療学	800	補助 文部科学省
姉妹染色体分体の分配を支配するPKU-β/T LK1の機能解析	伊達 孝保	総合医学研究所	1,100	補助 文部科学省
マウスES細胞由来心筋細胞の分化成熟過程にお ける分岐構造の非線形力学的解析	倉田 康孝	生理機能制御学(生理 学)	1,900	補助 文部科学省
「おいしさ」を科学する:味覚-嗅覚相互連関の解 明	須貝 外喜夫	生理機能制御学(生理 学)	700	補助 文部科学省
運動トレーニングの循環ショックへの影響 -肝循環に 注目して-	宮前 俊一	生理機能制御学(生理 学)	1,000	補助 文部科学省
アナフィラキシーショックにおける心機能の統合的 研究	芝本 利重	生理機能制御学(生理 学)	2,800	補助 文部科学省
複数のモノアミン作動系物質の組み合わせによる 扁桃体神経興奮性調整システム	山本 亮	生理機能制御学(生理 学)	450	補助 (財)日本科学協 会笹川科学研究 助成金
新規心筋虚血マーカーである血清デオキシホ 核酸分解酵素Iによる不安定狭心症診断	河合 康幸	循環制御学(循環器内 科学)	2,200	補助 文部科学省
Gene33/RALTは心筋の酸化ストレス障害に対 する制御因子か?	竹田 健史	循環制御学(循環器内 科学)	1,600	補助 文部科学省
細胞変形に伴う肺胞上皮損傷とToll-like Receptorsの役割	梶 博久	呼吸機能治療学(呼吸 器内科学)	1,300	補助 文部科学省
極限高地生息動物の肺循環特性-Rhoキナーゼを 中心とした分子生物学的研究-	梶 博久	呼吸機能治療学(呼吸 器内科学)	100	補助 文部科学省
肺傷害におけるβ受容体機能再生メカニ ズムの研究	佐久間 勉	呼吸機能治療学(呼吸 器外科)	1,600	補助 文部科学省
仮想・極細気管支鏡とPET-CTを用いた肺野微小 肺癌の悪性度解析と個別治療の確立	佐川 元保	呼吸機能治療学(呼吸 器外科)	500	補助 文部科学省

小計 25件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託先
がん検診の適切な方法とその評価法の確立に関する研究	佐川 元保	呼吸機能治療学(呼吸器外科)	800	補助 厚生労働省
がん検診の評価とあり方に関する研究	佐川 元保	呼吸機能治療学(呼吸器外科)	3,000	補助 厚生労働省
標準的検診法と精度管理や医療経済的効果に関する研究	佐川 元保	呼吸機能治療学(呼吸器外科)	1,000	補助 厚生労働省
神経疾患の診断・治療・予防に関する包括的臨床研究	松井 真	脳脊髄神経治療学(神経内科学)	500	委託 厚生労働省
免疫性神経疾患に関する調査研究	松井 真	脳脊髄神経治療学(神経内科学)	1,200	補助 厚生労働省
急性脳炎・脳症のグルタミン酸受容体自己免疫病態の解明・早期診断・治療法確立に関する臨床研究	田中 恵子	脳脊髄神経治療学(神経内科学)	1,000	補助 厚生労働省
がん早期診断に有用な特異的血清マーカー検出系の確立ー傍腫瘍性神経症候群を対象とし、onconeural protein に反応する自己抗体の網羅的検出系ー	田中 恵子	脳脊髄神経治療学(神経内科学)	1,000	補助 (財)北国がん研究振興財団北国がん基金研究助成金
抗痙攣薬(フェイトニン)による多発性硬化症急性期治療戦略の開発(実験的自己免疫性脳脊髄炎を用いて)	長山 成美	脳脊髄神経治療学(神経内科学)	500	補助 (財)日本脳神経財団研究助成
進行性腎疾患コホートにおける機能分子に関するプロテオーム解析	横山 仁	腎機能治療学(腎臓内科学)	1,000	補助 文部科学省
トロンピン受容体阻害による尿路結石症発生抑制	鈴木 孝治	泌尿生殖器治療学(泌尿器科学)	1,000	補助 文部科学省
リポアラフト制御による新たな免疫抑制剤の開発	梅原 久範	血液免疫制御学(血液免疫内科学)	6,100	補助 文部科学省
金沢医科大学 悪性リンパ腫コントロール・チーム(Lymphoma Control Team: LCT)	正木 康史	血液免疫制御学(血液免疫内科学)	500	補助 (財)北国がん研究振興財団北国がん基金研究助成金
スフィンゴ脂質を分子標的としたがん治療法の開発	梅原 久範	血液免疫制御学(血液免疫内科学)	4,000	補助 (財)車両競技公益資金記念財団研究助成
環東シ海に収斂される媒介動物の分布特性に基づく新興再興感染症拡散経路の確定	及川 陽三郎	生体感染防御学(微生物学・医動物学)	200	補助 文部科学省
免疫性神経疾患に関する調査研究	大原 義朗	生体感染防御学(微生物学・医動物学)	1,200	補助 厚生労働省
社会経済状態とabsenteeism・presenteeism	石崎 昌夫	社会環境保健医学(衛生学)	1,000	補助 文部科学省
タイ王国汚染地域におけるカドミウム暴露と動脈硬化に関する研究	中川 秀昭	健康増進予防医学(公衆衛生学)	1,800	補助 文部科学省
日本人の食事におけるグリセミックインデックスと糖尿病発症に関する疫学研究	櫻井 勝	健康増進予防医学(公衆衛生学)	1,400	補助 文部科学省
各種栄養素摂取の長期変化と生活習慣病発症に関する大規模疫学研究	中川 秀昭	健康増進予防医学(公衆衛生学)	400	補助 文部科学省
GISを用いたベトナムでのダイオキシン類による環境汚染と健康影響に関する疫学研究	中川 秀昭	健康増進予防医学(公衆衛生学)	1,000	補助 文部科学省
メボリック症候群に関する遺伝子多型の疾病リスクと予防医学的評価	中川 秀昭	健康増進予防医学(公衆衛生学)	800	補助 文部科学省
食生活・栄養素摂取状況が高齢者の健康寿命に与える影響に関する研究:NIPPON DATA80・90の追跡調査	中川 秀昭	健康増進予防医学(公衆衛生学)	300	補助 厚生労働省
特定疾患の疫学に関する研究	中川 秀昭	健康増進予防医学(公衆衛生学)	1,000	補助 厚生労働省
大規模コホート共同研究による生活習慣病発症予防データベース構築とその高度利用に関する研究	中川 秀昭	健康増進予防医学(公衆衛生学)	2,000	補助 厚生労働省
勤労者の健康づくりのための給食を活用した集団及びハイリスク者への対策に関する研究	中川 秀昭	健康増進予防医学(公衆衛生学)	1,500	補助 厚生労働省

小計 25 件



研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託先
保健指導への活用を前提としたメボリックシンドロームの診断・管理のエビデンス創出のための横断・縦断研究	中川 秀昭	健康増進予防医学(公衆衛生学)	2,400	補助 厚生労働省
カドミウム汚染地域における生命予後等に関する疫学研究	中川 秀昭	健康増進予防医学(公衆衛生学)	4,600	委託 (株)東リリサーチセンター委託事業(環境省)
認知症、運動希疾患等の老年病罹患状況及び高齢者の心身状況把握のための長期疫学的調査研究	森本 茂人	高齢医学(老年病学)	7,000	委託 厚生労働省
降圧治療および抗凝固療法の個人の特性に応じたテーラーメイド治療確立に関する研究	森本 茂人	高齢医学(老年病学)	500	補助 厚生労働省
川崎病発症に自己免疫機序が関与している:モデルマウスを用いた分子相同仮説の検証	中村 常之	発生発達医学(小児科学)	1,400	補助 文部科学省
システム生物学にもとづく白血球幹細胞モデルの構築と予測型治療戦略への基盤創成	犀川 太	発生発達医学(小児科学)	2,300	補助 文部科学省
治療過程管理を導入した小児横紋筋肉腫にたいする臨床試験と遺伝子解析研究	伊川 廣道	臓器機能再建学(小児外科学)	200	補助 文部科学省
近赤外線酸素モニターによるCOMT多型と前頭葉機能の関連-ADHDでの比較-	地引 逸亀	精神神経科学(神経精神医学)	600	補助 文部科学省
機能的脳画像解析による強迫性障害への認知行動療法の有効性に関する研究	小泉 業月	精神神経科学(神経精神医学)	1,400	補助 文部科学省
3DSRT解析による <sup>99m</sup> Tc-ECD SPECTを用いた未投薬および未服薬の統合失調症患者における非型抗精神病薬quetiapineの局所脳血流に及ぼす影響に関する研究	紋川 明和	精神神経科学(神経精神医学)	500	補助 (公)松原三郎記念事業松原記念奨励賞
正常および敗血症ラットの微小腸間膜動脈運動に及ぼす鎮静薬の影響	関 純彦	侵襲制御学(麻酔学)	500	補助 文部科学省
慢性疲労症候群の漢方治療における中枢神経系の再生機構	守屋 純二	総合内科学(総合診療科)	2,000	補助 文部科学省
神経-血管相互作用による血管ネットワーク形成に関わる遺伝子群の探索と病理機能	米倉 秀人	ゲノム医科学(生化学)	1,900	補助 文部科学省
M期にDNA損傷を受けた細胞での新規損傷チェックポイントの研究:TLK1の役割	橋本 光正	ゲノム医科学(生化学)	1,600	補助 文部科学省
増殖性網膜炎の新規治療法の開発-miRNAを標的とした血管新生抑制	吉竹 佳の	ゲノム医科学(生化学)	2,800	補助 文部科学省
モノユビキチン化53BP1による非同末端結合修復制御機構の解明	岩淵 邦芳	ゲノム医科学(生化学)	1,400	補助 文部科学省
HTLV-1感染によるNF- $\kappa$ B活性化におけるBcl-3の意義	斎藤 孔良	生体感染防御学(微生物学・医動物学)	1,400	補助 文部科学省
覚醒剤関連死の法医病理学的診断の精度向上を目指して:高体温症及び血管障害の解析	北村 修	法医学	1,200	補助 文部科学省
神経細胞傷害と細胞ストレスに着目した覚醒剤少量投与による実験動物モデルの解析	武市 敏明	法医学	1,700	補助 文部科学省
産業領域におけるバーニアウト予防のための介入研究	北岡 和代	看護学部	2,400	補助 文部科学省
眼鏡、サングラスを介して背後から眼内に侵入する紫外線の経路とその防御法	小島 正美	看護学部	700	補助 文部科学省
炎症性大腸癌における一酸化窒素のジェネティック作用とエピジェネティック作用	甲野 裕之	看護学部	1,200	補助 文部科学省
夜勤交代勤務に対する適応過程の追跡研究-睡眠、疲労、バイオマーカーの1年間の追跡	森河 裕子	看護学部	500	補助 文部科学省
甲状腺ホルモン欠乏による胎生期脳障害の病態解明に関する研究	柿沼 宏明	看護学部	1,400	補助 文部科学省
「訪問看護師を対象とした感染管理教育プログラム」の実証と再構築に関する研究	前田 修子	看護学部	900	補助 文部科学省

小計 25 件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託先
2型糖尿病患者の運動療法のとらえ方からみた運動療法看護教育プログラムの開発	山崎 松美	看護学部	1,800	補助 文部科学省
幼児の午睡と生体リズムとの関連—単相睡眠への移行までの追跡調査—	津田 朗子	看護学部	700	補助 文部科学省
生体腎移植におけるドナーの経験	田村 幸子	看護学部	1,040	補助 文部科学省
ヒガン発生に係わる環境要因及び感受性要因に関する研究	甲野 裕之	看護学部	1,700	補助 厚生労働省
医療・衛生材料確保に関する退院支援マニュアルの開発	前田 修子	看護学部	300	補助 日本私立看護系大学協会若手研究者研究助成
医療・衛生材料確保に関する退院支援マニュアルの開発	前田 修子	看護学部	786	補助 (財)在宅医療助成勇美記念財団
訪問看護師対象の「在宅ターミナルケア」に関する教育プログラム開発	前田 修子	看護学部	200	補助 文部科学省
対人援助職の離職を防ぐためのバーンアウトの予防と回復に関する研究	北岡 和代	看護学部	400	補助 文部科学省
各種栄養素摂取の長期変化と生活習慣病発症に関する大規模疫学研究	森河 裕子	看護学部	100	補助 文部科学省
大学特別ゼミナール「移植を語ろう」	田村 幸子	看護学部	312	委託 (独)日本学術振興会
親業支援プログラムの効果に関する国際比較研究	北岡 和代	看護学部	0	補助 英国政府による国際共同研究助

小計 11 件

総計 110 件

## 2 論文発表等の実績

雑誌名 (発行年月)	題 名	発表者名 (著者名)	所属部門
Modern Physician (2008.4)	原発性高脂血症 診断のポイント	梶波康二	循環器内科
日本アフェレンス学会雑誌(2008.4)	冠動脈硬化症に対するLDLアフェレンス治療	本山敦士	循環器内科
臨床栄養 (2008.4)	遺伝子異常に原因をおく脂質異常症	梶波康二	循環器内科
薬局 (2008.4)	動脈硬化症予防ガイドライン2007年版からみた脂質異常症のとらえ方と治療方針	梶波康二	循環器内科
別冊日本臨牀 新領域別症候群シリーズ No.7(2008.4)	XIII 後天性弁膜症 僧帽弁膜症, 僧帽弁逸脱症候群, 僧帽弁腱索断裂	津川博一	循環器内科
循環器専門医 (2008.4)	スタチン療法のファーマコゲノミクス —冠動脈疾患治療から心不全治療へ—	梶波康二	循環器内科
Medical Practice (2008.5)	脂質異常治療薬を循環器疾患治療にどう組み合わせるか	本山敦士	循環器内科
Coronary Intervention	非CTO病変に対するガイドワイヤーの選択と使用法	北山道彦	循環器内科
The American Journal of Cardiology (2008.8)	Prevalence and Characterization of Pulmonary Vein Variants in Patients With Atrial Fibrillation Determined Using 3-Dimensional Computed Tomography	Kenichi Kaseno	循環器内科
成人病と生活習慣病 (2008.10)	脂質異常症の遺伝的背景	佐藤良子	循環器内科
腎と透析 血液浄化療法2009(2008.12)	家族性高コレステロール血症(家族性高脂血症)	赤尾浩慶	循環器内科
内科 (2009.1)	《正確な診断へいたるための道筋》遺伝子検査が必要な場合とは?	本山敦士	循環器内科
Clinica Chimica Acta (2009.2)	Development of a sensitive enzyme-linked immunosorbent assay for measurement of Dnase I in human serum	Yasuyuki Kawai	循環器内科
The Tohoku Journal of Experimental Medicine	Increased reabsorption of alveolar edema fluid in the obese zucker rat	佐久間 勉	呼吸器外科学
金沢医科大学雑誌 (2008.12)	気道インターベンション治療の有効性に関する検討	相川 広一	呼吸器外科学
Lung Cancer(2009.3)	Four years experience of the survey quality control of lung cancer screening system in japan	佐川 元保	呼吸器外科学
Anticancer Research(2009.1)	Effect of Polymoter Methylation of multidrug Resistance 1(MDR1)Gene in Gastric Carcinogenesis	TOMIYASU ARISAWA	消化器機能治療学
Anticancer Research(2009.2)	Effect of Polymorphisms in the 3'-Untranslated Region(3'-UTR)of VEGF Gene on Gastric Pre-malignant Condition	TOMIYASU ARISAWA	消化器機能治療学
Hepatogastroenterology(2009.3)	COMT Gene Val158Met Polymorphism influences the Severity of interstitial metaplasia in H.Pylori infected older subjects	TOMIYASU ARISAWA	消化器機能治療学
Scandinavian journal of gastroenterology(2009.3)	Association of polymorphism of the p22PHOX component of NADPH oxidase in gastroduodenal diseases in Japan	TOMIYASU ARISAWA	消化器機能治療学
Clin Transplant(2008.7月)	Ischemia-reperfusion injury as the leading cause of primary non-function in renal transplantation using donors with prolonged warm	M.Asaka	腎機能治療学
Ther Apher Dial(2008. 12月)	A case report of an adult with severe hyperlipidemia during acute lymphocytic leukemia induction therapy successfully treated with plasmapheresis	M.Nakagawa	腎機能治療学
日腎会誌(2009.1月)	当院における過去30年間のループス系球体腎炎の臨床病理学的検査	奥山 宏	腎機能治療学
透析会誌(2009.3月)	冠動脈造影による造影剤腎症に対する予防的持続血液透析の有効性に関する検討	佐藤一賢	腎機能治療学
Diabetes Research and Clinical Practice (2008.9)	AST-120 (Kremezin) initiated in early stage chronic kidney disease stunts the progression of renal dysfunction in type 2 diabetic subjects	小西 一典	内分泌・代謝科
Hypertens Research (2008.5)	Immobilization stress inhibits intimal fibromuscular proliferation in the process of arterial remodeling in rats	岩井邦充	高齢医学
金沢医科大学雑誌 (2008.8)	Association seroprevalence of human metapneumovirus with small vessel disease with dementia in elderly inpatients in Japan	能村幸司	高齢医学
International Journal of APMIS (2008.6)	Candesartan improves myocardial damage in obese mice with viral myocarditis and induces cardiac adiponectin	森本茂人	高齢医学
	Analysis of children with Chlamydia(Chlamydia) pneumoniae and Mycoplasma pneumoniae respiratory infections by real-time PCR assay and serological tests	Jun-ichi Yamamura	発生発達医学 (小児科学)

雑誌名 (発行年月)	題 名	発表者名 (著者名)	所属部門
日本小児救急医学会雑誌 (2008.6)	石川県能登地区の小中学校における教職員の一次救命処置と自動体外式除細動器設置の普及状況	中村 常之	発生発達医学 (小児科学)
心臓 (2008.7)	小児心臓カテーテル検査における塩酸デクスメトミジンおよびプロポフォール安全性と有用性の検討	秋田 千里	発生発達医学 (小児科学)
日本小児アレルギー学会誌 (2008.8)	外来での簡単な問診票とチェック表を導入することによる小児気管支喘息ガイドラインに沿った治療推進の効果	中村 利美	発生発達医学 (小児科学)
Pediatric Cardiology (2009.1)	Three-Dimensional Computed Tomographic Findings of Bilateral Tracheal Bronchus	Tsuneyuki Nakamura	発生発達医学 (小児科学)
北陸公衆衛生学会誌 (2009.3)	石川県における先天性心疾患の出生前診断と対策: 石川県胎児心エコー研究会が果たすべき役割	中村 常之	発生発達医学 (小児科学)
日本小児アレルギー学会誌 (2009.3)	保護者アンケートによる北陸地区における小児気管支喘息診療の実態調査	中村 利美	発生発達医学 (小児科学)
金医大誌 (2008.12)	アルツハイマー型認知症ならびに近縁の軽度認知障害患者におけるVSRADによる海馬傍回萎縮度と神経心理学的検査成績の関係の検討	清水 聡	精神神経科学
Can. J. Physiol. Pharmacol (2008.5)	Increase in extracellular dopamine levels during clozapine-induced potentiation in the hippocampal dentate gyrus of chronically prepared rabbits	窪田 孝	精神神経科学
MMPI研究・臨床情報交換誌 (2009.3)	強迫性障害患者のMMPIプロフィールの特徴	小泉 葉月	精神神経科学
こころの科学	青年期のこころの歩み	小泉 葉月	精神神経科学
Toxicology and Industrial Health (2008.4)	Experimental studies on the bone metabolism of male rats chronically exposed to cadmium intoxication using dual-energy X-ray absorptiometry	横田 啓	放射線診断治療学
小児科臨床 (2008.4)	不明熱の原因として忘れてはならない急性巣状細菌性腎炎 一画像診断の有用性—	的場 宗孝	放射線診断治療学
金沢医科大学雑誌 (2008.10)	放射線治療後の早期治療効果判定における高分解能MR imagingおよび <sup>1</sup> H-MR spectroscopyの有用性に関する実験的検討	近藤 環	放射線診断治療学
日人工関節会誌 (2008.12)	ジルコニア骨頭に対するポリエチレン磨耗—クロスリンクと非クロスリンクの比較—	福井 清数	運動機能病態学 (整形外科)
関節外科 (2008.11)	サポートリングを用いない臼蓋側再建	兼氏 歩	運動機能病態学 (整形外科)
Hip Joint (2008.11)	前・初期変形性股関節症に対する寛骨臼回転骨切り術の長期成績—15年以上観察例における病期進行の危険因子—	兼氏 歩	運動機能病態学 (整形外科)
別冊整形外 (2008.10)	人工靭帯を用いた円錐靭帯再建術によるNeer分類type II 鎖骨遠位端骨折の治療成績	岡田 正人	運動機能病態学 (整形外科)
別冊整形外 (2008.10)	上腕骨外側上顆炎に対するNirschl法の治療成績	岡田 正人	運動機能病態学 (整形外科)
別冊整形外 (2008.10)	新しい内固定剤を用いた上腕骨遠位部骨折の治療成績—ONI Transcondylar PlateとMayo Clinic Congruent Elbow Plate System—	前岡 勇人	運動機能病態学 (整形外科)
中部整災誌 (2008.9)	腰部脊柱管狭窄症に対する片側進入両側除圧術の侵襲度比較	奥田 鉄人	運動機能病態学 (整形外科)
MB Orthop (2008.7)	人工股関節置換術後の疼痛	杉森 端三	運動機能病態学 (整形外科)
中部整災誌 (2008.7)	成人変形性股関節症に対する大腿骨減捻骨切り術の試み	兼氏 歩	運動機能病態学 (整形外科)
中部整災誌 (2008.7)	片側進入低侵襲TLIFの臨床成績とその手術侵襲について 多裂筋への侵襲に着目して	藤田 拓也	運動機能病態学 (整形外科)
Physics in Medicine and Biology (2008.6)	Computational model for calculating body-core temperature elevation in rabbits due to whole-body exposure at 2.45 GHz	M.Kojima	眼科学
Current Medical Research and Opinion (2008.12)	Calculation of AQCmax : Comparison of five ophthalmic fluoroquinolone solutions	M.Fukuda	眼科学
リハビリテーション学科東北文化学園大学 リハビリテーション学科 紀要 (2009.1)	Assessment of pinguecula and pterygium in the aging eye with ultraviolet fluorescence photography (UVFP) : Data analysis of eye disease surver in Shanxi China	K.Sasaki	眼科学

小計 26件

雑誌名 (発行年月)	題 名	発表者名 (著者名)	所属部門
日本白内障学会会誌 (2008.6)	電波曝露が眼に及ぼす影響	小島正美	眼科学
紫外線環境保健マニュアル (2008.6)	紫外線の眼への影響	佐々木洋	眼科学
太陽紫外線防御研究委員会 (2008.7)	眼の紫外線対策の新常識が明らかに	佐々木洋	眼科学
あたらしい眼科 (2009.10)	アスタキサンチンの家兎眼内動態の検討	福田正道	眼科学
IOL&RS (2009.1)	白内障から疑う全身疾患	佐々木洋	眼科学
あたらしい眼科 (2009.1)	観察研究(コホート研究):レイキヤビック・アイ・ステディ	佐々木洋	眼科学
日本の眼科 (2009.2)	眼と紫外線	佐々木洋	眼科学
あたらしい眼科 (2009.3)	ニューキノロン系抗菌剤点眼薬と非ステロイド抗炎症点眼薬の培養家兎由来角膜細胞に対する影響	福田正道	眼科学
日本白内障学会会誌 (2009.3)	白内障の予防	佐々木洋	眼科学
日本鼻科学会誌 (2008.4)	胆管用Tチューブを使用した内視鏡下鼻内DCR法の検討	村田 英之	感覚機能病態学 (耳鼻咽喉科学)
頭頸部癌 (2008.12)	進行下咽頭癌における術前化学放射線療法に対する病理学的効果の検討	辻 裕之	感覚機能病態学 (耳鼻咽喉科学)
日本耳鼻咽喉科感染症研究会会誌	当科における急性喉頭蓋炎症例の緊急気道確保のタイミング	宮澤 徹	感覚機能病態学 (耳鼻咽喉科学)
Hip Joint (2008. 11.30)	変形性股関節症患者の片脚立位時における中殿筋の活動様式	織田真由美, 神戸晃男, 山口昌夫	リハビリテーションセンター
Hip Joint (2008. 11.30)	片側THA患者の脚長差と術側下肢荷重率との関係	荻越公司, 神戸晃男, 山口昌夫	リハビリテーションセンター
Hip Joint (2008. 11.30)	大腿骨頸部・転子部骨折安定型クリニカルパスにおける年齢と術式(人工骨頭置換術・骨接合術)による影響	中木哲也, 神戸晃男, 山口昌夫	リハビリテーションセンター
Hip Joint (2008. 11.30)	デュシャンヌ・トレンデレンブルグ徴候を伴う変形性股関節症患者の歩行時における中殿筋の運動単位制御	神戸晃男, 栗岩和彦, 山口昌夫	リハビリテーションセンター
石川県理学療法学雑誌 (2009. 3)	当院における大腿骨頸部・転子部骨折安定型クリニカルパスの妥当性-受傷前歩行レベルの違いによる比較-	中木哲也, 神戸晃男, 山口昌夫	リハビリテーションセンター
Shock. (2008.6)	Venous resistance increases during rat anaphylactic shock.	Shibamoto T	生理機能制御学 (生理Ⅱ)
Pflugers Arch. (2008.6).	Increased sinusoidal resistance is responsible for the basal state and endothelin-induced venoconstriction in perfused cirrhotic rat liver.	Shibamoto T	生理機能制御学 (生理Ⅱ)
Pharmacology. (2008.6)	PAF, rather than histamine, participates in mouse anaphylactic hypotension.	Shibamoto T	生理機能制御学 (生理Ⅱ)
Biophys J. (2008.7)	Regional difference in dynamical property of sinoatrial node pacemaking: role of Na <sup>+</sup> channel current.	Kurata Y	生理機能制御学 (生理Ⅱ)
Biomed Res. (2008.8)	Changes of HCN gene expression and I(f) currents in Nkx2.5-positive cardiomyocytes derived from murine embryonic stem cells during differentiation.	Kurata Y	生理機能制御学 (生理Ⅱ)
Biochem Biophys Res Commun. (2008.8)	Functional stabilization of Kv1.5 protein by Hsp70 in mammalian cell lines.	Kurata Y	生理機能制御学 (生理Ⅱ)
Shock. (2009.2)	7-nitroindazole, but not L-name or aminoguanidine, attenuates anaphylactic hypotension in conscious rats.	Shibamoto T	生理機能制御学 (生理Ⅱ)
World Journal of Gastroenterology (2009.2)	Primary localized malignant biphasic mesothelioma of the liver in a patient with asbestosis	Nojima T	病院病理部
Journal of Mass Spectrometry (2009.2)	Five cases of $\alpha$ -ureidopropionase deficiency detected by GC/MS analysis of urine metabolome	久原とみ子	人類遺伝学研究部門
金沢医科大学雑誌 (2008.10)	GC/MS分析による本邦例中鎖アシルCoA脱水素酵素欠損症患者とMCTミルク摂取児の尿中有機酸排泄比較	新家 敏弘	人類遺伝学研究部門
Journal of Chromatography B (2008.7)	Prenatal diagnosis of propionic acidemia by measuring methylcitric acid in dried amniotic fluid on filter paper using GC/MS	井上 義人	人類遺伝学研究部門

小計 28件

雑誌名 (発行年月)	題 名	発表者名 (著者名)	所属部門
Medical Practice (2008.4)	IV救急・応急処置の実際/A救急・応急処置を必要とする病態と処置法 急性心不全	松井 忍	先進医療研究部門
Journal of Molecular and Cardiology (2008.4)	Amelioration of myocarditis by stain through inhibiting cross-talk between antigen presenting cells and lymphocytes	Shinobu Matsui	先進医療研究部門
International Journal of	Involvement of thymus in amiodarone-treated autoimmune myocarditis in rats	Shinobu Matsui	先進医療研究部門
腎と透析 血液浄化療法2009 (2009. 2)	血液浄化療法の臨床 単純血漿交換・二重膜濾過血漿吸着-脂質代謝・循環器疾患 103. その他(心不全・心筋症)	松井 忍	先進医療研究部門
Tohoku J. Exp. Med. (2008. 4)	Quantifying nanomolar levels of nitrite in biological samples by HPLC-Griess method: Special reference to Arterio-Venous difference	石橋隆治	生体情報薬理学
Biol. Pharm. Bull. (2009. 3)	Arteriovenous differences in NO <sub>2</sub> - kinetics in anesthetized rabbits	石橋隆治	生体情報薬理学
日本白内障学会誌 (2008.6)	電波曝露が眼に及ぼす影響について	小島 正美	総合医学研究所 環境原性視覚病態研究部門
Physics in Medicine and Biology (2008.6)	Computational model for calculating body-core temperature elevation in rabbits due to whole-body exposure at 2.45GHz	Masami Kojima	総合医学研究所 環境原性視覚病態研究部門
Blood (2008.9)	Impaired function of human T-lymphotropic virus type 1 (HTLV-1) —specific CD8+ T cells in HTLV-1—associated neurologic disease	M.Saito	生体感染防御学
Retrovirology (2009.2)	In vivo expression of the HBZ gene of HTLV-1 correlates with proviral load, inflammatory markers and disease severity in HTLV-1 associated myelopathy/tropical spastic paraparesis (HAM/TSP)	M.Saito	生体感染防御学

小計 10件

計 93件

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長	飯塚 秀明
管理担当者氏名	病院事務部事務長	古居 滋

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		管理課 薬剤部 看護部 中央放射線部 医療情報部 医事課	【診療録】 患者登録は初回来院時の登録番号（7桁）を基準として、1患者1番号で生涯有効性を採用し、1患者の入院と外来の全病歴を電子媒体により保存・管理している。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	病院職員課	/
	高度の医療の提供の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課	
	高度の医療の研修の実績	病院職員課	
	閲覧実績	管理課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	地域医療連携事務課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	管理課 薬剤部	
体制確保の状況 規則第9条の23及び第1条の11各号に掲げる	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全部（医療安全管理部門）	/
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療安全部（感染制御部門）	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全部（医療安全管理部門）	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全部（医療安全管理部門）	
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全部（医療安全管理部門）	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全部（医療安全管理部門）	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全部（医療安全管理部門）	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全部（医療安全管理部門）	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第9条の23及び第1条の11各号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	医療安全（感染制御部門）
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医療安全（感染制御部門）
		従業員に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医療安全（感染制御部門）
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全（感染制御部門）
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
		従業員に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	ME部
		従業員に対する医療機器の安全使用のための研修の状況	ME部
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME部
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	ME部		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。



(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	(診療録関係) 医療情報部長 堀 有 行
	(管理・運営関係) 病院事務部事務長 古 居 滋
閲覧担当者氏名	(診療録関係) 情報管理課長 柴 山 卓 也
	(管理・運営関係) 管理課長 上 端 雅 則
閲覧の求めに応じる場所	カルテ閲覧室 ・ 管理課事務室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延 0 件
閲覧者別	医 師	延 0 件
	歯 科 医 師	延 0 件
	国	延 0 件
	地方公共団体	延 0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	57.6%	算定期間	平成20年 4月 1日 ~ 平成21年 3月31日
算 出 根 拠	A: 紹介患者の数		8,565 人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		8,630 人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		1,481 人
	D: 初診の患者の数		23,821 人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
- 2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

## 規則第 9 条の 2 3 及び第 1 条の 1 1 各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (4名) ・ 無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (3名) ・ 無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 所属職員：専任 ( 7 ) 名 兼任 ( 15 ) 名</li> <li>・ 活動のおもな内容</li> <li>・ 医療安全対策委員会、医療安全対策小委員会及び事故調査委員会、医療問題検討委員会で用いられる資料及び議事録の作成及び保存、その他医療安全対策委員会の庶務に関すること。</li> <li>・ 医療事故等に関する診療録や看護記録等への記載が正確かつ十分になされていることの確認を行うとともに、必要な指導を行うこと。</li> <li>・ 患者や家族への説明など事故発生時の対応状況について確認を行うとともに、必要な指導を行うこと。</li> <li>・ 事故等の原因究明が適切に実施されていることを確認するとともに、必要な指導を行うこと。</li> <li>・ 医療安全に係る連絡調整に関すること。</li> <li>・ 診療情報提供に関すること。</li> <li>・ 医療安全相談に関すること。</li> <li>・ その他医療安全対策の推進に関すること。(病院全職員を対象とするもの、特定の部署の職員を対象とするもの等の職員研修の計画・立案・実施等)</li> </ul>	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有 ・ 無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指針の主な内容</li> </ul> <p>医療事故防止に関する安全管理体制の指針（以下「指針」という。）は、医療事故防止に関する安全管理体制、安全管理体制に関する関係規程及び医療事故防止に関する共通及び部門マニュアルの 3 部構成をとっている。</p> <p>指針は、医療事故防止に関する病院の方針、用語の定義、医療事故の防止体制、医療事故発生時の対応、インシデントレポートに関する基本事項、医療事故防止規程・マニュアルの整備、医療事故防止に関する職員の研修、患者暴力行為への対応、安全管理体制に関する組織図等、医療事故報告書様式など医療事故防止に係る基本的事項を収載している。</p> <p>安全管理体制に関する関係規程は、リスクマネジメント規程、医療事故調査委員会規程、医療安全対策委員会規程、医療安全対策小委員会運営要領、医療安全対策部組織運営内規、診療情報提供に関する規程、患者相談業務に関する事務取扱要領を収載している。それぞれの規程には規程制定の趣旨・目的、委員の構成、審議事項等を定めている。</p> <p>医療事故防止に関する共通マニュアルは、患者誤認防止、伝達エラー、転倒・転落、身体抑制、小児静脈留置の固定、毒薬・ハイリスク薬の管理、抗がん剤治療のプロトコール、抗凝血薬と抗血小板薬の手術前防止、インスリン・スライディング・スケール入力、高濃度カ</p>	

リウム塩注射剤、類似薬品の入力、薬の患者自己管理、抗がん剤の血管外漏出対応、褥瘡対策マニュアル、中心静脈カテーテル挿入のための安全マニュアル、深部静脈血栓症・肺血栓症予防マニュアル、医薬品安全使用のための業務手順書、医療機器の安全管理体制の確保、機器管理、院内救急コールシステムマニュアル、個人情報保護について、電子カルテシステムの利用について、陽だまりルーム、相談窓口のご案内等 25 項目について記載し、共通の事故防止マニュアルとしている。

一方、部門マニュアルでは、薬剤部、内視鏡センター、救急医療センター、中央手術部、中央滅菌材料部、血液センター、中央臨床検査部、リハビリテーションセンター、21 世紀集学的医療センター安全対策マニュアル、栄養部、看護部等、臨床研修センター等 12 部署の安全対策マニュアルを記載している。

⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況

年 24 回

活動の主な内容

**\*医療安全対策小委員会：月 1 回開催（第 3 水曜日）**

医療安全対策小委員会は、内科系・外科系・小児科医師、看護師、薬剤師、医療技術職員及び事務職員の 18 名で構成され、医療安全管理者及び事務局から提出された当該部署に特有の事例を含め、各部門に共通するような代表事例について事例検討を行う。事例検討では、インシデントに至る状況、要因、影響、改善等について、医師・看護師等それぞれの職種の間で見た意見を出し合い、小委員会としても徹底的に分析・検討し、医療事故防止対策を検討する。また、その結果は医療安全対策委員会に検討事例、改善策として報告・提案するとともに、システムの改善で防止できるものであれば担当部署に委員会として改善を要望する。

**\*医療安全対策委員会：月 1 回開催（第 4 火曜日）**

医療安全対策委員会は各部門・各部署の部門リスクマネージャー（病棟医長、部長、看護師長、技師長、課長相当職）70 名で構成されている。インシデント情報の収集結果、状況別・原因別集計表及び医療安全対策小委員会から報告されるインシデント事例の分析・検討結果、改善策をそれぞれの部門・部署に周知すると共に情報を共有し、事故の防止に努める。さらに、診療科、病棟、薬剤部、ME 部他関連する部署のスタッフが、それぞれの部署でのインシデント事例について、それぞれの職種の立場を超えて分析・検討するインシデント分析検討会を定期的に行っており、その内容について 2 グループづつ代表者が報告する。他に指針・マニュアルの改正、医療安全院内ラウンド、全体職員・リスクマネージャー研修会、医療安全アンケート、その他医療安全に係る事項についての審議・結果報告を行う。

委員会の議事録及び資料は、各委員及び全リスクマネージャーに配付し、所属職員全員に周知するよう回覧を行い、読んだ者はサインするようにしている。他に、電子カルテ上とイントラネット「病院職員のページ」にも委員会の議事録を掲載している。

⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況

年 22 回

・研修の主な内容

第1回 安全管理体制確保のための職員研修会

開催日 平成20年7月4日

テーマ 医療機関における医療安全対策

講師 遠山 芳樹 (株)スズケン カスタマーサポート部 コンサルティング課

第2回 安全管理体制確保のための職員研修会

開催日 平成21年1月23日

テーマ 活かそうインシデントレポート ―全員で行うインシデント検討会―

講師 中川 淳 (金沢医科大学病院 医療安全対策小委員会 委員長)

第1回院内感染防止のための教育講演会

日時 平成20年8月1日

テーマ 新しい隔離予防策のガイドライン

講師 井口 昌晴 (金沢医科大学病院 感染対策室 副部長、呼吸器内科 講師)

不動 政代 ( // 感染対策室 看護師長)

第2回院内感染防止のための教育講演会

日時 平成21年3月23日

テーマ HIV診療の現状と患者に対する初期対応について

講師 上田 幹夫 (石川県立中央病院 血液免疫内科部長)

山田 三枝子 ( // HIV専任看護師)

褥瘡対策講習会

日時 平成21年3月18日

テーマ 金沢医科大学病院における褥瘡患者の実態

講師 川上 重彦 (金沢医科大学病院 褥瘡対策委員会 委員長)

中村 徳子 ( // 褥瘡管理者)

新人職員研修会

開催日 平成20年4月2日

テーマ 医療安全管理体制の指針と医療事故の防止体制について

講師 前多 一美 (医療安全管理者)

新採研修医講習会

開催日 平成20年4月4日

テーマ 薬剤の処方と麻薬の取り扱いについて

講師 医薬品安全管理責任者

新人看護師研修会

開催日 平成20年4月7日

テーマ 安全管理体制について

講師 前多 一美 (医療安全管理者)

看護師研修会

開催日 平成20年5月30日、6月6日

テーマ 医療安全管理の目的と分析方法 (メデイカルセーフター) について

講師 前多 一美 (医療安全管理者)

#### 看護師宿泊研修会

開催日 平成20年9月12日～13日  
テーマ 医療安全管理の目的と分析方法（メデイカルセーフター）について  
講師 前多 一美（医療安全管理者）・看護部

#### 静脈注射手技・採血手技トレーニング

開催日 平成20年5月14・15日  
講師 機器納入業者

#### 輸液ポンプ・シリンジポンプトレーニング

開催日 平成20年5月28日  
講師 機器納入業者

#### 人工呼吸器・除細動器取扱い研修会

開催日 平成20年6月20日  
講師 機器納入業者

#### 看護師研修会

開催日 平成20年6月13日、7月24日  
テーマ 医療安全管理の目的と分析方法（メデイカルセーフター）について  
講師 前多 一美（医療安全管理者）

#### 看護補助員研修会

開催日 平成20年9月4・11日  
テーマ 転倒・転落防止シミュレーション  
講師 前多 一美（医療安全管理者）、看護副部長

#### 新人看護師研修会

開催日 平成20年9月18・26日  
テーマ 1. 転倒・転落防止シミュレーション  
2. 危険予知トレーニングについて  
講師 前多 一美（医療安全管理者）、看護副部長

#### 帰局員及び中途採用者研修会

開催日 平成20年12月8日  
テーマ 安全管理体制の指針及び電子カルテの基本操作について  
講師 前多 一美（医療安全管理者）・医療情報課担当者

#### 研修医・看護師対象の研修会

開催日 平成20年9月10日  
テーマ 麻薬・向精神薬の取り扱い  
講師 薬剤部担当者

#### 研修医・看護師対象の研修会

開催日 平成20年12月17日  
テーマ 注射についてのリスクマネジメント  
講師 薬剤部担当者

徐細動器、人工呼吸器操作取扱い研修会

開催日 平成20年6月20日、11月14日

講師 医療機器納入業者、ME機器医療安全管理者

電気メス取扱いセミナー

開催日 平成20年9月26日

講師 医療機器納入業者

医療機器の取扱いと深部静脈血栓予防セミナー

開催日 平成20年10月24日

講師 医療機器納入業者

⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況

・医療機関内における事故報告等の整備

(有)・無)

- ・医療事故が発生した場合には、それが重大なものであれば当事者から口頭で主治医・診療科長をとおして医療安全管理者に報告され、医療安全管理者が医療安全部長・診療部長である副院長、病院長へと報告する。その後速やかに主治医・当該部門リスクマネージャが、所定の医療事故報告書で事故の詳細を報告するシステムとなっている。
- ・事故調査委員会、医療問題検討委員会は、病院長を委員長とし、副院長、医療安全管理者、看護部長等で構成し、提出された事故報告書に基づき主治医・看護師長他関係者から事情聴取を行い、事故原因の調査・分析をし、改善策の立案・指導を通して医療安全体制の確保を目指している。
- ・インシデントは、当事者から部門リスクマネージャを通し医療安全部（医療安全管理者）へ提出される。提出されたインシデントレポートは、事例によっては医療安全管理者が事実確認等の詳細な調査を行うと共に独自に分析・検討し現場へ改善策等の指導を行うとともに、分析結果を現場へ通知し、情報を共有して事故の発生防止に努める。

・その他の改善のための方策の主な内容

【安全対策委員会及び事故調査委員会、医療問題検討委員会で策定・指導した改善策】

- ・患者・家族への説明と同意について（立会い看護師）  
患者・家族への説明・同意には、看護師が必ず立ち会う。同意書は立会い看護師が確認し、医師と共に署名する。
- ・予後告知患者への病状説明について  
チーム医療として連携するため、電子カルテ上の病状告知チェック欄を有効に活用する。電子カルテメール（鯨メール）を活用し、医師間で意思の疎通を図る。
- ・腎瘻カテーテルの自己切断防止について  
入院パンフレットに、はさみやナイフは患者の状態により持ち帰り願うと記載し周知する。
- ・薬剤処方量間違いの防止について  
粉末の抗生剤を処方オーダーする場合は、力価をmgで表示選択する。
- ・麻薬の取扱いについて  
麻薬に関するポスターを作成し各部署に配布。麻薬取扱いに関する院内・院外の研修会に積極的に参加させる。（院内研修 9/10 実施）

- 内服薬投与忘れ防止について  
口頭申し送りはせず、ワークシートやメモで申し送る。また与薬車を活用し、患者トレイに「内服未」と書いたカードを挿入する。
- 採血検体の取り違い防止について  
1 患者 1 ラベルが原則だが、必要な場合 2 枚分発行できるように、運用システムに追加する。
- 規格間違いでの内服薬払出し防止について  
薬剤調剤者・監査者の責任を明確にするため、処方箋の薬剤・規格名に調剤者は○を付け、監査者は✓を重ねる。
- 血液製剤過剰投与防止について  
液体薬剤規格表示に量 (ml) 表示も加える。
- X-P ポータブルでの患者重複撮影の防止について  
OP室術中写真マニュアルにカセットの事前消去と撮影後放射線技師が出向いて、術医に画像確認依頼を行うことを追加する。

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有 ・ 無
・ 指針の主な内容： 1. 院内感染に対策に関する基本的な考え方 2. 院内感染対策のための委員会およびその他組織に関する基本事項 3. 院内感染対策のための職員等に対する研修に関する基本方針 4. 感染症の発生状況の報告に関する基本事項 5. 院内感染発生時の対応に関する基本事項 6. 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 7. その他院内感染対策推進のために必要な基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	有 ・ 無
・ 活動の主な内容： 1. 感染管理組織とシステムの構築 2. 院内感染サーベイランス 3. 感染に対するコンサルテーション 4. 感染管理教育 5. 職業感染防止 6. 感染防止技術：マニュアル作成・改訂 7. ファシリティ・マネジメント	
③ 従業員に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 2 回
・ 研修の主な内容： 1. 全職員対象 1) 「大学病院における感染・医療安全対策」 開催日時：2009年7月24日 講師：一山 智 京都大学附属病院副院長 2) 「NICUの感染対策」 開催日時：2009年8月7日 講師：青木雅子 富山大学附属病院NICU副看護部長 2. 新採用者対象全員「新入職員オリエンテーション」開催日時：2009年4月2日 1) コメディカル対象：開催日時：2009年4月4日 2) 研修医対象：開催日時：2009年4月7日 3) 看護師対象：開催日時：2009年4月6日 3. 看護師2年目・准看護師対象：開催日時：2009年6月15日	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有 ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 感染症対策マニュアルの改訂 1) 感染管理体制の中で、リンク委員規定・感染制御部門の運営基準内容を変更し追加した。 2) 感染症法に基づき届出が必要な感染症、鳥インフルエンザ・擬似症を追加し食中毒を削除。 3) 針刺し・切創、粘膜暴露の内容を修正 ・ 受傷者は、全て消化器内科に受診から受傷する原因となった相手の主治医・代行医・担当医に受診し、検査結果により、HBs抗原陽性・HCV抗体陽性の場合は消化器内科、HIVのリスクがある(疑いがある)場合は血液・リウマチ膠原病科が診察を担当する。 4) その他事務組織変更に伴う箇所を変更した。	



医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	① 有 ・ 無
② 従事者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 3 回
・研修の主な内容： 平成20年4月4日(金)「薬剤の処方と麻薬の取り扱い」 演者：薬剤部長 西尾浩次 対象：研修医 平成20年9月10日(水)「麻薬・向精神薬の取り扱い」 演者：薬剤部主任 政氏藤玄 対象：新任看護師、研修医 平成20年12月17日(水)「注射薬についてのリスクマネジメント」 演者：薬剤部主任 高橋喜統 対象：新任看護師、研修医	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・手順書の作成 ( ① 有 ・ 無 ) ・業務の主な内容： 医薬品の採用・購入に関する事項 医薬品の管理に関する事項 患者の持参薬歴情報の収集方法、処方箋の記載方法 患者に対する与薬や服薬指導に関する事項 医薬品の安全使用に係る情報の取り扱いに関する事項 他施設(病院、薬局など)との連携に関する事項	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・医薬品に係る情報の収集の整備 ( ① 有 ・ 無 ) ・その他の改善のための方策の主な内容： 薬剤部内での安全対策に関する会議を月1回開催し、問題点、解決方法を検討し、薬剤部員へ周知後実施。手順書の変更が必要な場合は、この会議で手順書の変更の承認を得た後、安全対策委員会で承認を得る。	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
② 従事者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 2 回
・研修の主な内容： 人工心肺及び補助循環装置、人工呼吸器、血液浄化装置、除細動装置、閉鎖式保育器、診療用高エネルギー発生装置等の装置、機器類について年2回の研修を実施。研修内容としては主に、安全性、有効性、基本的な操作方法、保守管理、トラブル時の対応そして法令等の遵守事項等について実施している。	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・計画の策定 ( <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 )	
・保守点検の主な内容： 当院では機器管理部門であるME部が機器の保守管理を行っており、管理機器保守点検計画書（人工心肺及び補助循環装置、人工呼吸器、血液浄化装置、除細動装置、閉鎖式保育器、診療用高エネルギー発生装置を含む）の年間計画に従って実施。基本的にメーカー提供の機器マニュアル、及びメーカー指示（点検内容、点検期間、頻度）に従いチェックシートを作成し臨床工学技士が保守管理（通常点検、定期点検）を行っている。また人工呼吸器等、主要機器のオーバーホール等はメーカーに委託して行っている。 (注：診療用高エネルギー発生装置は中央放射線部管理)	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・医療機器に係る情報の収集の整備 ( <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 )	
・その他の改善のための方策の主な内容： 主としてメーカー、臨床工学技士会及び医薬品医療機器総合機構（PMDA）のホームページ、またはPMDAからのメール配信サービス、加えて各種機器納入事業者等より関連情報を入手。院内関連部門へ通達、メール等により周知、また必要時にはメーカー・事業者と共に臨床工学技士（ME部）が協力し当該部門への直接対応等を行っている。	